

## 第1回加東市行財政改革推進委員会 会議の概要

(平成22年度 第1回推進委員会)

開催日時	平成22年12月17日(金)午後7時~午後9時
開催場所	社福祉センター 2階 レクリエーション室
出席状況	委員:11名(1名欠席) 市側:安田市長、山田副市長 事務局:企画部長、企画政策課長ほか1名
会 議 の 概 要	
<p>委嘱状の交付(机上交付)</p> <p>1 開 会</p> <p>2 市長あいさつ 事務局から、委員及び市側出席者の紹介</p> <p>3 委員長の選出 兵庫教育大学 理事・事務局長の新谷喜之氏 を委員長に選出 新谷委員長あいさつ</p> <p>4 加東市の行財政改革の推進について諮問 安田市長から新谷委員長に行財政改革の推進についての諮問書を、手渡す。</p> <p>5 協 議</p> <p>(1) 第2次行財政改革の推進について これまでの市の取組や今後の推進について、事務局から説明する。</p> <p>(2) 行財政改革推進委員会の運営について 委員会の運営について、申し合わせ(案)のとおり決定する。</p> <p>(3) 行財政改革大綱の策定について 大綱素案に対する意見等を平成23年1月5日(水)までに事務局へ提出する。 提出いただいた意見を取りまとめ、次回の委員会で協議する。</p> <p>(4) 次回の推進委員会の日程について 平成23年1月13日(木)午後7時から開催、場所は後日決定する。</p> <p>6 そ の 他 委員に、委員連絡票と口座振替申出書の提出を依頼する。 希望者には、会議の資料などを電子メールで送信する。</p> <p>7 閉 会</p>	

## 主な意見の要旨等〔 以下は、事務局等の回答 〕

## 【行財政改革推進委員会の運営について】

申し合わせ（案）の文面を変更する必要はないが、各選出団体等での任期は終了するがこの委員会の委員を継続する場合は、事務局から選出団体に依頼してほしい。

ご意見のとおりとします。

ホームページなどで公開されている内容は良いと思うが、この委員会での議論、内容について知人などに意見を求めても構わないのか。

広く意見を求めるといった観点からは、情報をオープンにさせていただくことの方がありがたいと考えています。

## 【行財政改革大綱の策定について、及び、市に関して幅広い観点からの自由意見等】

資料では北播磨5市で一番少ない正規職員数になっているが、非正規職員（嘱託、アルバイト）の雇用状況も踏まえて比較する必要がある。

今回の取組の中で、非正規職員も含めて、適正化に取り組んでいきたい。

人口減少についても取り組むこととしてあるが、加東市に住みたいが土地がないという状況がある。特別指定区域という制度ができたと聞いたが、外部からの転入での活用は難しい。

人口減少に対応するために土地政策だけではなく、子育て支援や教育などを含めて総合的に考えていきたい。

工業団地について、地元採用が少ないので、働きかけが必要である。また、企業が誘致されているが、設備が整って従業員が少ないので、人をたくさん雇用する企業を優先的に誘致することも必要である。

様々なデータに基づいて計画を策定されると思うが、データが古い。中期的な計画を策定するための新しいデータの収集や、近隣市と比較する場合のデータの整合性も重要である。

部門別職員数について、この数値が多いのか少ないのか判断できない。人口による割合で比較するなど、分かりやすい工夫ができないか。

それぞれの市でサービスに差があり、人数の単純比較はできにくいですが、比較検討できるように工夫していきたい。

子育て世代で、小学校就学前までは加東市に住んで、その後地元に戻る人が多い。その人たちを加東市に引き止める施策がないかと思う。

大綱策定のスケジュールが非常に厳しいが、いろんな意見を反映できていくのか。

大綱は、今後の取組の基本となるものなので、委員の協力のもと進めていきたい。

このような大綱を策定するときは、自分たちのまちの人口がどうなっていくかが一番気になる。バブルが崩壊し、給料が増えない、税収が増えないという中で、歳入に見合った歳出、バランスのとれたまちづくり、そして、若者が多く定住できる元気なまちづくりが必要だと思う。